

まほろば



2016.10
第182号

院内感染対策・医療安全研修会

—どうして耐性菌になるの？治療はどうする？—

薬剤耐性菌とは、抗菌薬が効きにくい細菌です。抗菌薬の不適切な使用により増加しています。一方で新しい抗菌薬の開発は減少しており、耐性菌の拡大は社会でも問題になっています。

今回、臨床検査技師と薬剤師が、9月28日から3日間にわたりて研修会を行い、約220名の職員が、耐性菌に変化する仕組みや、耐性菌を増やさないために抗菌薬の適正使用が大切であることを学びました。抗菌薬は、効果のある種類の薬を適切な量と期間使用する必要があります。地域での耐性菌の拡大が懸念されています。市民のみなさまにも、抗菌薬の適正な使用（「他人から抗菌薬をもら

わない」「あげない」「処方された薬は飲みきる」）にご協力ををお願いいたします。

感染管理認定看護師：対馬 春子



講師：血液主任 佐藤恵美子（右側）

医薬品情報管理主任 長谷川聰美（左側）

—輸血と検査—

今回の医療安全研修は「輸血と検査」と題して、輸血に関連した検査について説明しました。輸血関連の検査三本柱、血液型検査・不規則抗体検査・交差適合試験の3つについて検査法や注意点を挙げながら、あまり難しくならないように説明したつもりでしたが、検査技師以外の他職種の方には理解しがたい点もあったかもしれません。

普段、検査結果のみを見ている方には「こんな注意点があるのか」、「こんな感じで検査してるんだ」という雰囲気を少しは感じていただけたのではないかと思います。

輸血過誤の防止、特にヒューマンエラーを防ぐ

には2重3重のチェックが必要です。職員一人一人が高い意識を持って安全な輸血に取り組んでいきましょう。

副臨床検査技師長：阿部 直臣



講師：副臨床検査技師長 阿部直臣



旬を楽しもう！！



朝晩めっきりと寒くなりました。岩木山・八甲田山などでは紅葉も始まり、いよいよ秋真っ盛りです。

今夏の津軽は例年ない暑さが続き、又、全国的には多くの台風上陸と大雨…各方面、大きな被害に見舞われ、特に農産物は甚大な被害を受けました。少し気になる今年の収穫ですが、「新米」、「栗」、「柿」、「りんご」、「秋刀魚」、「鮭」など旬（夏の疲れを回復させ、冬の寒さに備える）のおいしい食べものが豊富に出回り、まさに味覚を楽しむのに絶好の季節となりました。

旬のメリット1：香りやうまみが豊富で、味が濃くおいしい

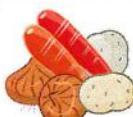
メリット2：他の時期より栄養成分が豊富で、栄養価が高くなる

メリット3：鮮度が良く価格も安くなり、毎日の食卓に取り入れやすい

旬の食材は、日本の素晴らしい四季を感じさせてくれます。

『味覚の秋』、『芸術の秋』、『スポーツの秋』、『行楽の秋』、あなたの『秋』は？？？

短い秋を満喫しましょう！！



栄養管理室長：野呂 直子

シリーズ「リハビリ」より～

Q&A(理学療法士)

突然だが皆さんは「リハビリ」と聞くとどのような事を思い浮かべるだろうか？

当院にもリハビリテーション関連職種があります。今日は母親が肩を痛めた際にリハビリを受

け回復し喜ぶ姿をみた事がきっかけでこの仕事を志したという理学療法士(PT)に理学療法とは何なのか話しを伺ってみた。

・「PTってどんなお仕事？」

『例えばケガや病気で身体の一部（または全部）を動かせなくなった方に対して、身体機能や動作等の1人ではできない部分をお手伝いしできるようになるための練習をしている。』

・「作業療法士(OT)や言語聴覚士(ST)との違いは？」

『いずれも身体機能維持・回復の訓練を実施するので被ってくるところはあると思う。それぞれの特徴を挙げるとすれば、PTは身体の機能維持・回復、OTは実際にその人の暮らしの場でどう動くかを整え、STは食事や会話に関する機能維持・回復・獲得。』

・「どんな理学療法になりたい？」

『やはり患者さんにこの人が担当でよかったと思っていただけるようになりたい』

・「どうやったら理学療法をしてもらえる？」

『理学療法に限らず、リハビリテーションは医師の処方を受けて行われます。私達の判断では開始できないでまずは主治医に相談してみてください。』

少しは理学療法の仕事についてイメージがついただろうか？

次回は作業療法士についてお届けする予定です。



作業療法士：高杉 早紀

看護学校レクリエーションin岩木

平成28年9月21日、心地よい秋晴れのなか、レクリエーションとして岩木青少年スポーツセンターに行ってきました。到着後は岩木山をバックに各学年で記念撮影をし、その後炊事を行いました。炊事はバーベキュードラムを使って行いました。火を起こすことが初めての学生が多く、なかなか火を起させず、食材を焼いて食べるまでに時間がかかりましたが楽しそうに取り組んでいる姿が印象的でした。バーベキュー後は水風船で遊ぶ

姿や、キャッチボール、パターゴルフをするなど自由な時間を有意義に過ごしていました。レクリエーションの目的であるクラスの仲間や教員と交流を深めることができました。

企画の準備は大変でしたが、クラスの友人や先輩、先生方に助けられ楽しく、無事にレクリエーションを終えることができました。これからも学校生活や実習に向けてお互いを高め合い頑張っていきための良い機会となりました。

弘前病院附属看護学校63回生：三上 結香



風の子保育園 運動会

9月17日（土）看護学校講堂にて、院内保育園の運動会が行われました。たくさんの保護者の方々の応援の中、「家族みんなで参加し、大いに笑い、楽しい運動会にしましょう」とプログラムが進められました。年長児が元気よく選手宣誓をし、恒例の津軽弁バージョンのラジオ体操、子供たちの大好きな体操で準備運動もすませ、全園児のかけっこです。運動会という雰囲気に緊張し、なかなかスタートできなかった1歳児でしたが、ゴールで待っているお母さんの姿を見つけ、元気に走り出しました。「フレーフレーお父さん、フレーフレーお母さん」とみんなにエールを送ってくれた1・2歳児の可愛いお遊戯。親子競技では、トコトコ歩きの子供たちと一緒に中腰になってかけっこしていた姿に包み込む思いが感じられました。年長児

は、最後の運動会と、大好きな縄跳びを一生懸命頑張ってくれました。4人でつなげたりレーでの完璧なバトンタッチ、親子競技では、ポケモンをゲットして楽しみました。祖父母の競技で作ってもらったねぷたでドンコドンコ、ヤーヤドーと会場を盛りあげてくれた風の子ねぷた。お遊戯「キミの夢はボクの夢」では、風の子Tシャツで元気に踊り、♪温かいんだから～♪と退場して、会場から大きな笑いがあふれました。「今日はみんなが一番で立派でした」と無事終える事ができた運動会。輝く笑顔で頑張った運動会は、勝ち負けよりも一層、子供たちを成長させ、思い出に残る楽しい一日だったと思います。保護者の皆さんには、お忙しい中ご参加いただき、温かい声援と、ご協力、本当にありがとうございました。

風の子保育園園長：内山 明子



外来診療一覧

◆外来医師診療一覧表 (2016年10月1日現在)

診療科	区分	月	火	水	木	金
循環器内科		熊本秀樹	熊本秀樹	熊本秀樹	熊本秀樹	熊本秀樹
呼吸器科		中川英之	山本勝丸	中川英之	山本勝丸	中川英之
		山本勝丸	下山亞矢子	下山亞矢子	下山亞矢子	下山亞矢子
		下山亞矢子	森本武史	森本武史	石岡佳子	森本武史
		—	石岡佳子	石岡佳子	—	—
消化器・血液内科		鎌田耕輔	鎌田耕輔	佐竹立	鎌田耕輔	鎌田耕輔
		松木明彦	松木明彦/立田卓登	松木明彦	松木明彦	佐竹立
		佐藤年信	佐竹立	佐藤年信	秋元直樹	佐藤年信
		石黒陽	石黒陽	—	石黒陽	石黒陽
小児科		杉本和彦	佐藤工	佐藤啓	佐藤工	杉本和彦
		三上珠希	岡本剛	三上珠希	岡本剛	佐藤啓
外科学		柴田滋	中井款	柴田滋	中井款	三上勝也
乳腺外科		小田桐弘毅	小田桐弘毅	小田桐弘毅	櫻庭弘康	小田桐弘毅
整形外科	午前	佐々木 静	秋元博之	秋元博之	休診 (手術)	秋元博之
		飯尾浩平	佐々木 静	飯尾浩平		佐々木 静
		藤田拓	飯尾浩平	(佐々木 静)		(飯尾浩平)
脳神経外科	午後	—	—	—	休診	休診
		—	—	木村正英		—
皮膚科	午前	熊野高行	佐藤正憲	佐藤正憲	熊野高行	熊野高行
		佐藤正憲	熊野高行	熊野高行	佐藤正憲	佐藤正憲
	午後	●予約	●手術/検査	●予約	●手術/検査	●予約
泌尿器科	午前	野呂大輔	野呂大輔	弘前大学医師	野呂大輔	野呂大輔
	午後	検査	検査	手術	検査	手術
産婦人科		谷口綾亮	丹藤伴江	丹藤伴江	●妊婦健診 (一般外来休診)	阿部和弘
		田中加奈子	淵之上康平	田中加奈子		松村由紀子
眼科		蒔苗順義	蒔苗順義	蒔苗順義	蒔苗順義	蒔苗順義
耳鼻咽喉科		工藤直美	野村彩美	—	三國谷由貴	—
放射線科	診断	佐々木幸雄	佐々木幸雄	佐々木幸雄	佐々木幸雄	佐々木幸雄
	治療	—	—	川口英夫 (午後)	—	川口英夫 (午後)
女性専用外来		杉本菜穂子(※予約制/第1・第3水曜日午後診療)				
セカンドオピニオン		—	—	—	今充	—

※ 学会、出張などにより担当医師が替わる場合があります。

今月の川柳

★川柳募集★ あなたの川柳をお待ちしています。

ポケモンは 捕獲するなと 院長令

(千葉蒼石)

※掲載作品は広報誌編集委員会で選出したものです。

患者相談窓口

『患者相談室』のMSW(メディカルソーシャルワーカー)が対応していますので、お気軽にお尋ね下さい。

お知らせ

編集委員会より

当院の広報誌『まほろば』は、地域に信頼され、納得の医療で地域に貢献しつつ、地域と協働して歩む病院づくりを目指し、地域の方々を対象に編集しております。皆さまから病院に対して『不安なことや不満足なこと』『ご批判やご指摘』また、『お褒めのことば』を職員一同お待ちしております。

発行元



Hirosaki National Hospital
独立行政法人国立病院機構

弘前病院

責任者：副院長 小田桐 弘毅

〒036-8545 弘前市大字富野町1番地
TEL 0172-32-4311
FAX 0172-33-8614
URL <http://www.aoi-mori.net/~hirosaki/>